

施策1	文化活動の活性化		
(1)文化活動の推進			
	主な取組	2022 取組実績	2023 取組計画
	宇部文化連盟との協働による宇部市芸術祭を開催することにより、市民の文化活動の発表の場を確保します。	宇部文化連盟と共催により実施した。(展示、舞台、文芸、総合) ・展示8部門(出品者537人 入場者4,583人) ・舞台8部門(出演者505人 入場者2,677人) ・文芸1部門(出品者267人 入場者160人) ・総合(出演者139人 入場者807人)	宇部文化連盟と宇部市文化創造財団が連携して実施する。(展示、舞台、文芸、総合)
	宇部市文化創造財団等との連携により、音楽公演をはじめとした良質な公演等の文化事業を開催します。	・鑑賞公演5本(小林愛実、近藤真彦、アートキャラバン、中村獅童、交響曲UBE) (来場者率 50.9%(3,438席/6,765席)) ・人材育成・創造事業等5本(加古隆、桂宮治、柳家喬太郎、春風亭一之輔、真夏の夜の夢) (来場者率 44.2%(1,861席/4,209席))	著名なアーティストなどを招聘し、年代や属性(性別、障害の有無など)に関わらず全ての人を楽しめるステージイベント等を宇部市文化創造財団が実施する。 ・ステージ公演(第九など)や展示会(ゆかり展)など 8本 ・県内財団等との共催による公演 3本
	文化行事への後援などを通じて団体等が実施する文化活動を支援するとともに、各助成財団等の助成金情報など提供します。	若手音楽家育成事業 ①厚狭地区吹奏楽②宇部ジュニアアンサンブル 市民活動団体(4団体)へ支援 ①市民オーケストラ②宇部吹奏楽団 ③子どものためのコンサート④宇部三曲連盟	宇部市文化創造財団への補助を通じて以下の助成事業を実施する。 ・若手音楽家育成事業 市内で活動している若手の音楽団体に対し助成金を交付し、活動を支援する。 ・市民文化活動支援事業 市内で開催される文化事業で、財団が定める要件を満たす事業を対象に助成金を交付するとともに、チケット販売や広報の支援を行う。
	アーティストの滞在型創作活動(アーティスト・イン・レジデンス)を推進し、市民とアーティストとの交流を促進します。	邦楽演奏家・小田誠氏 (3月21日実施の「邦楽の調べ」(於:文化会館)で来宇) ①桃山中での、箏演奏の鑑賞 113人 ②市民向けワークショップ 9人	自主事業・共催事業で来宇したアーティスト等の滞在期間中にワークショップ等を宇部市文化創造財団で実施し、子どもをはじめとした市民が文化芸術に触れる機会を創出する。
	在留外国人などに対し、文化事業の鑑賞や体験の機会を提供し、多文化共生の取組を推進します。	子ども課外クラブ募集時に、英語版チラシを作成・配布した。	子ども課外クラブ募集時、英語版チラシを宇部市文化創造財団で作成・配布する。
		・絵手紙体験(在留外国人など5人参加) ・餅つき体験交流会(在留外国人など25人参加) ・子ども課外クラブ(宇部市文化創造財団事業)翻訳支援	宇部市多文化共生推進ビジョン策定
	関係機関と連携し、渡辺翁記念会館や都市型ホテルを会場とした大型の文化事業やコンベンションなどを誘致します。	・文化会館:第14回ナノ構造エピタキシャル成長講演 1件(93人) ・ANAクラウンプラザホテル:第144回西日本整形・災害外科学会学術集会等 4件(1,100人)	渡辺翁記念会館、文化会館、市内都市型ホテルを利用したコンベンションなどの誘致を図る。
	市内の文化団体・活動者の協力を得ながら、子どもたちが伝統文化等を体験できる機会として「子ども文化夢教室」を各小学校で開催します。	伝統文化に関する「子ども文化夢教室」を8校で実施した。 日舞 2校(98人) 俳句 6校(355人)	伝統文化に関する「子ども文化夢教室」を実施し、子どもたちが日舞や俳句などの伝統文化を体験できる機会を宇部市文化創造財団が提供することを支援する。
	小・中学生の文化体験活動の一環として、市内外の専門家から直接指導を受けるワークショップ型の教室を開催します。	伝統文化以外の「子ども文化夢教室」を4校で実施した。 ダンス 2校(148人) コミュニケーションワークショップ 2校(94人)	・子ども文化夢教室 市内小学校で音楽・ダンスの指導者によるワークショップ型の文化教室を宇部市文化創造財団が実施する。 ・子ども夢チャレンジ 市内の中学生を対象に、活躍するアーティストを招いて講演やコンサート等を宇部市文化創造財団が開催する。

障害のあるなしに関わらず参加や鑑賞ができる文化事業を企画・開催します。	障害者の鑑賞支援のため、介助者へ主催及び共催事業の無料チケットを配付した。	障害者の鑑賞支援のため、介助者へ宇部市文化創造財団が主催及び共催する公演等の無料チケットを配付する。うーばーがファシリテーターとなり、新しいアート鑑賞法として国内外で実施されているヴィジュアル・シンキング・ストラテジーの企画を検討している。
経済的に不安を抱える世帯の子どもたちなどを対象に、文化事業に触れる機会を創出する「社会包摂事業」を実施します。	「私のあしながおじさんプロジェクト2022in宇部」として、子ども課外クラブ(ピアノ・ダンス・琴)を実施した。 ・ピアノ 10人 ・ダンス 17人 ・琴 21人	宇部市文化創造財団が行う「私のあしながおじさんプロジェクト」として、舞台芸術鑑賞への招待や、子ども課外クラブを実施する。
音響や映像・舞台芸術などに携わる市内事業者等と連携して、音楽公演などを積極的に開催することで、地元の文化関連産業を支援します。	財団の自主運営事業のうち1事業、補助金活用事業のうち2事業を、市内音響事業者(3事業者)連携して実施し、地元関連産業を支援した。	財団事業の中で可能な事業において、市内音響事業者等と連携して実施し、地元関連産業を支援する。
ポストコロナ社会における「新たな日常」への対応のため、オンライン配信や文化事業における非接触化などを支援します。	オンライン配信を希望する主催者へ技術的な支援を行った。アートマネージャー養成講座ではオンラインによる受講ができるようにした。	オンライン配信を希望する主催者へ技術的な支援を行う。
本市にゆかりある映画監督やアーティストによる、映画・アニメーション・音楽などの文化を市内外にPRするとともに、次世代に引き継ぎます。	財団友の会会員等へ「ふしぎの海のナディア展」の開催を周知し、広報に協力した。 本市出身の庵野秀明監督が手掛けた「エヴァンゲリオン」に関連したイベントである「まちじゅうエヴァンゲリオン第2弾」を実施した。	財団友の会会員等へのPRなど、周知に協力する。「アニメ・特撮文化魅力発信事業」として、アニメ関係者による講演会やワークショップを開催する。 庵野秀明監督が手掛けた「シン・仮面ライダー」の公開記念パネル展、まちじゅうエヴァンゲリオン第3弾の実施を予定。また、新川市まつりや宇部まつりで撮影実績等のPRを予定している。

(2)文化・アート人材の育成		
主な取組	2022 取組実績	2023 取組計画
人・アート・場所をつなぎ、新しい価値と創造的なコミュニティによるまちの発展に向け、アートコミュニケーター(うーばー)の育成とアート活動を支援します。	アートコミュニケーター3期生を募集し、シンポジウム、基礎講座、実践講座を実施した。 ・アートコミュニケーター 3期生17人(累計:59人) ・シンポジウム 1回(58人) ・基礎講座 4回(延べ93人) ・実践講座 2回(延べ38人)	アートコミュニケーター4期生20人を募集し、シンポジウム・基礎講座・実践講座を実施する。 文化資源を活用した企画実施を行う。
うーばー(3年任期)修了生が、それぞれの地域や職場・団体などで、自主的にアートによるコミュニティ活動を行うことを支援します。	ホームページ内の会員専用ページ等で、個々の活動を支援した。第29回UBEビエンナーレ関連イベントとして、宇部市ふるさとコンパニオンの会と連携して彫刻への理解を深めることを目的とした、対話型鑑賞のワークショップ開催等、自主的な活動を支援した。	任期終了後、アートを介した活動で社会デビューする卒業生と、在籍うーばーの連携により、文化資源を活かした企画実施を行う。2023年は「桃色れんが」を活かしたワークショップの開催や、山口大学工学部との連携事業を行う。
うーばー及び修了生の活動拠点の設置を支援します。	湖水ホール等に設置した。	うーばーの利便性向上のため、活動拠点を文化会館に設置する。
茶華道・書道・短歌・俳句・俳画・絵画・演劇・日本舞踊などの伝統文化に携わる後継者の発掘・育成を支援します。	・「子ども文化夢教室」の講座に「俳句」を新設 ・「小・中学生箏曲振興事業」としてワークショップや演奏会を実施した。	箏曲振興事業として小中学生を対象としたワークショップや演奏会を実施するとともに、子ども文化夢教室や子ども課外クラブで伝統文化の講座を宇部市文化創造財団が実施する。
文化活動団体や宇部市文化創造財団と連携して、アートマネージャー養成講座を開催し、文化と市民・社会をつなぐアートマネジメントを実践できる人材を育成します。	「ワークショップリーダー養成講座」、「市民講座(講演会)」を実施した。 ・A講座 ワorkshopリーダー養成講座 20人 ・B講座 市民講座(講演会) 20人	・「アートマネージャー養成講座」として、より実践的な人材を育成するためワークショップリーダー養成講座を開催する。 ・卒業生が学校や特別支援学校においてワークショップを行う。
アートマネージャーが主体となった、文化事業の開催を支援します。	養成講座卒業生が「子ども文化夢教室」でコミュニケーションワークショップを指導した。 ・コミュニケーションワークショップ 2校(94人)	・養成講座卒業生が、コミュニケーションワークショップを行う。 ・子ども達を中心とした舞台「市民参加型ミュージカル」の開催に向けてワークショップの企画をサポートする。

施策2	「UBEビエンナーレ」からひろがる“まち・ひと・アート”	
(1)UBEビエンナーレの推進		
主な取組	2022 取組実績	2023 取組計画
「UBEビエンナーレ」をこれからも継続的に開催していくため、彫刻だけでなく多様なアートにも触れる機会の創出を図ります。	つくる・みる・かんじる美術室や秋の企画展を開催し、多様なアートに触れる機会を創出した。また、UBEビエンナーレ関連イベントとしてダンス、MOTTAINAIプロジェクトなどを実施した。	秋に映画をテーマとした企画展、冬にポスターや図録のデザインの企画展を行う。
市民と協働したアートイベントの拡充を図り、市民とともにつくるビエンナーレを目指します。	UBEビエンナーレ世界一達成市民委員会と協働によるイベントを開催した。(描いちゃお 宇部の彫刻、オープニングダンスイベント等)	2023年度中に「UBEビエンナーレレビジョン」を策定予定としており、市民ワークショップでの意見を踏まえて、今後のビエンナーレについて考えていく。
「UBEビエンナーレ」の会場については、ときわ公園だけでなく、中心市街地等での開催も検討します。	新庁舎建設課等と協議・検討を行なった。	二期新庁舎建設に合わせて、検討を進めていく。
「UBEビエンナーレ」をより一層市民に親しみを感じてもらえるよう、入賞作家によるワークショップや作品展開催など、作家との連携を強化し、市民と作家との交流の場を創出します。	第29回UBEビエンナーレの出品作家2名によるワークショップをそれぞれ実施して、市民と作家との交流の場を創出した。	UBEビエンナーレ作家を招いて、ワークショップを開催する。
アートによるまちづくり“発祥の地”としての歴史や彫刻の魅力の発信、UBEビエンナーレゆかりの作家とその作品に関する調査・研究及びアーカイブの充実など、内外に向けた情報発信を強化してビエンナーレの価値を高めます。	UBEビエンナーレの草創期より大変ゆかりのある作家である向井良吉の目録を制作した。 ウェブサイトもリニューアルして情報発信を強化した。 「第29回UBEビエンナーレ」で、開会式を表彰式後の開催に変更し、開催機運を高めた。	引き続き、調査・研究を進めて、アーカイブを充実させていく。
PRブースの設置や広報媒体への相互の情報掲載など、全国的に評価の高い他の芸術祭や文化施設等と連携を強化します。	九州国立博物館でのPR展及び瀬戸内国際芸術祭会場でのPRブースの設置ならびに相互広報活動を実施した。	九州国立博物館において、PR展を開催する。
(2)彫刻企画展等の開催		
主な取組	2022 取組実績	2023 取組計画
柳原義達・向井良吉作品をはじめとする屋内コレクションを常設展示するとともに、市所蔵作品の定期的な企画展も開催し、市民がアートに触れる機会を創出します。	向井良吉、建畠覚造展を開催し、市所蔵作品も展示して、市民がアートに触れる機会を創出した。	「春の企画展」において所蔵作品の展示を行う。
ものづくり体験のワークショップを対面だけでなく、オンライン配信による作家との交流など、ポストコロナ社会における「新たな日常」に対応しながら開催します。	彫刻教育で、作家とオンライン授業を実施した。 音声ガイドやウェブサイトで新たにオンライン販売を開設し、「新たな日常」に対応した。	引き続き、作家とのオンライン授業による彫刻教育を行うとともに、音声ガイドやウェブサイトでのオンライン販売を実施する。
貴重な市所蔵作品等を適切に保管していくために、収蔵庫等の環境整備を行います。	収蔵庫に保管している市所蔵作品の点検を実施するとともに、空調設備の更新を実施した。	引き続き、収蔵庫内の作品の点検を行う。

(3)彫刻とアートの教育の推進		
主な取組	2022 取組実績	2023 取組計画
自分たちの身近にある彫刻をそれぞれの心で楽しみながら、まちに対する誇りや郷土愛を醸成するとともに、アートを介して、観察力、思考力、他者を理解する心を育み、主体的で豊かなコミュニケーションを生む彫刻とアート教育の充実を図ります。	絵画コンクール、彫刻清掃、低学年向けに彫刻カルタを制作した。	引き続き、絵画コンクールや彫刻清掃の実施、彫刻カルタの制作に向けて取り組む。
小中学生を対象とした彫刻及び模型鑑賞授業や作家との交流によるワークショップ等の実施に加え、ポストコロナ社会における「新たな日常」に対応したICT教育の環境等を活用する彫刻教育を推進します。	市内全小学校4年生を対象にUBEビエンナーレ鑑賞授業を、また、希望のあった小中学校で模型鑑賞授業を実施した。 彫刻教育で、作家とオンライン授業実施した。 UBEビエンナーレ作家による対面での彫刻授業を実施した。	引き続き、市内の小中学校4年生対象の鑑賞授業や、オンラインを活用した彫刻教育、UBEビエンナーレ作家による対面での彫刻授業などに取り組む。
地域や団体、大学等での講座開催など、多世代や様々な条件を持つ人たちにも対応しながら彫刻教育の普及促進を図り、生涯学習等にもつなげます。	大学(山口大学、女子美術大学ほか)での講座を実施した。	女子美術大学の実習授業や、山口大学工学部、広島市立大学で彫刻に関する講座を行う。
(4)彫刻によるまちづくりの推進		
主な取組	2022 取組実績	2023 取組計画
「緑と花と彫刻のまち」にふさわしい、環境との調和や景観にマッチした作品を選定するとともに、誰もが親しみやすく鑑賞できるような作品配置を行います。	地区要望により、2点の彫刻移設工事を実施した。	地区要望の彫刻設置に向けて展示委員会を開催し、検討を進めていく。
彫刻を活かした質の高いまちづくりを推進するため、新庁舎周辺については、宇部市のまちづくりの歴史や特徴を表現できるようなストーリー性のある彫刻の再配置を行います。	彫刻の再配置について、展示委員と協議を進めた。	まちなか及びときわミュージアムにおいて、彫刻再配置の検討を進めていく。
市民が安心して安全に野外彫刻作品を鑑賞できるよう、市内に設置されている約200点の作品を定期的に巡回点検し、メンテナンス等の維持管理を行いながら、居心地の良い魅力ある都市空間の形成を図ります。	所蔵している全作品の彫刻点検を実施し、3点の修復と1点の撤去、2点の内部構造検査を実施した。 ブロンズ作品10点の表面保護材塗布作業を実施した。 鉄の作品2点の基礎部の防食を実施した。	計画的に彫刻点検を実施し優先順位付けにより修繕を実施していく。

施策3	文化施設の整備・充実	
(1) 渡辺翁記念会館・文化会館の整備等		
主な取組	2022 取組実績	2023 取組計画
文化会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕を実施します。	関係者への調査や協議を行い、文化会館改修に関する基本・実施設計業務委託の契約を締結した。	関係者と協議し、外壁・防水設備工事の基本・実施設計を行い、改修工事に着手する。
文化会館の大規模修繕に合わせて、施設・設備の長寿命化改修を実施します。		関係者と協議し、基本・実施設計を行う。
渡辺翁記念会館の耐震改修及び空調設備改修等の大規模修繕の検討を行うため、文化庁と協議しながら「保存活用計画」を策定します。	保存活用計画策定のため、補助金の申請を行った。	「宇部市渡辺翁記念会館保存活用計画検討委員会」を設置し、保存活用計画の中間報告を行う。
駐車場不足のため、民間の駐車場の活用やJR宇部線・市営バス等公共交通機関の利便性向上のため交通事業者等と連携したイベントを開催します。	駐車場満車時に、周辺の民間駐車場の情報を提供した。	駐車場満車時に、周辺の民間駐車場の情報を提供する。 イベントについては、実施の可能性について交通事業者など関係者と協議していく。

施策4	文化財の保存・活用		
(1)文化財の保存・活用の推進			
	主な取組	2022 取組実績	2023 取組計画
	文化財愛護活動を推進するため、文化財所有者及び文化財愛護団体を支援するとともに、文化財の周辺環境整備を実施します。	文化財管理者及び文化財愛護団体へ補助金を交付した(5団体)。また、史跡等20カ所の環境整備を地域団体や郷土史研究団体等へ委託した。	文化財管理者及び文化財愛護団体へ補助金交付を予定している。また、史跡等20カ所の環境整備を地域団体や郷土史研究団体等へ委託する。
	地域団体や郷土史研究団体等と連携し、地域の大切な文化遺産として次世代へ継承するため各地域の未指定文化財の計画的調査と、文化財の指定・登録化を推進します。	調査に至っていないが、指定・登録すべき文化財について郷土史研究団体等から意見聴取した。	宇部市指定文化財の指定に向けて、所有者の意向確認後、文化財調査を実施予定である。
	文化財の保存活用を目途とした広報活動を推進します。	市ウェブサイト内の「文化財ライブラリ」で指定・登録文化財の詳細な情報を公開することで、文化財に関する正しい知識が周知されるよう広報した。	「文化財ライブラリ」の内容に古いものがないか確認・更新することで、文化財に関する正しい知識が周知されるよう広報する。
	本市の歴史や文化へのより一層の興味・関心を高め、貴重な地域資源である文化財史料の活用を図るため、市民団体との共同、連携により、文化財展等を開催し、文化財への愛着心を育成します。	市指定文化財を所有する寺と連携して企画展を開催した。その他、文化財防火デーの消防訓練を寺や地元住民、郷土史研究団体の協力を受けて開催した。	市民との連携による企画展の開催を予定している。また、文化財防火デーの消防訓練を開催地域の地元住民等と協力して実施する予定である。
	「宇部市デジタルミュージアム」を周知するとともに、活用を促進します。	学校の授業や、中学生向けの職業体験イベントなどで「宇部市デジタルミュージアム」を紹介した。また、年間を通して館内モニターで紹介動画を上映した。	学校の授業などでデジタルミュージアムを紹介する。また、年間を通して館内モニターで紹介動画を上映する。
	宇部南蛮音頭保存会との連携を強化し、南蛮音頭の普及と継承を進めます。	10月8日に山口市で開催された第30回地域伝統芸能全国大会に出演した。また、第72回宇部まつりでもステージにて宇部南蛮音頭を披露し、普及に努めた。	日本フォークダンス連盟が主催のふるさとの民踊に南蛮音頭が選ばれ、6月に新潟県南魚沼郡湯沢町で全国から集まった連盟の会員に踊りの講習を行うことが決定している。
(2)宇部市史の編さん			
	主な取組	2022 取組実績	2023 取組計画
	現在、発行している宇部市史について、昭和61年(1986年)以降の本市の歴史を追補し、市史の編さんを行うとともに、市史のデジタル化に取り組みます。	委員会を立ち上げ、2回の会議を通して基本方針や編さんスケジュールについて意見を交わした。市制100年の歩みについて通史編および資料編を作成し、旧楠町史通史編についても併せて編さんする方針に決定した。	調査執筆を行う「宇部市史編さん部会」を設立し、旧楠町史通史編の資料調査を開始する。
	デジタル化した市史を「宇部市デジタルミュージアム」に掲載し、後世への記録の継承及び掲載内容の検索や閲覧を容易に行えるようにします。	「宇部市デジタルミュージアム」への市史掲載について、市史編さん委員会で理解を求め、基本方針へ記載した。	「宇部市デジタルミュージアム」と宇部市史編さん事業の連携を図りつつ進める。
	宇部市100年の歴史を振り返る絵本を作成し、幅広い世代に宇部市の歴史に親しんでもらうことにより、シビックプライドを醸成する教育を推進します。	委員会を立ち上げ、3回の会議を通して絵本の構成や制作業者の選考方法等について意見を交わした。	公開型プロポーサルによって制作業者を決定する。